

令和6年度 稲作ごよみ

発行 監修 JAおおいた南部エリア
大分県中部振興局
臼杵市
JA全農おおいた

◎適期刈り取り、適正乾燥で良質米生産を！

◎農薬使用時期・使用方法是守りましょう。
◎農薬散布は適期適量・マスクの着用。

月旬別	5		6		7		8		9		10	
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
主な作業	播種期		元肥		田植期		除草剤		防除		出穂期	
	★ウンカ類に対する防除体系		スクラム箱粒剤 (播種同時～田植前日まで)		後期防除		(ウンカの発生状況により追加防除が必要)		後期防除		後期防除	
	★紋枯病対策		(紋枯病が発生したら追加防除を実施してください。)		Zボルドー粉剤DL							
水管理	深水		浅水		間断灌水		通水		花水(間断灌水)			
使用目的(時期)	種子消毒(播種7日前)		播種時		箱苗処理(播種時～田植前日まで)		除草剤		田植後		乳熟期	
農薬名	テフクロアブドール		スミチオン乳剤		スクラム箱粒剤		左図参照		スクミノン		スタークル粉剤DL	
	1000倍		1000倍		1箱当たり50グラム		1～4kg		3～4kg		3kg	
対象病害虫	いももち病		白葉枯病		紋枯病		もみ枯細菌病		内類褐変病		ツマグロコバイ	
	いももち病		白葉枯病		紋枯病		もみ枯細菌病		内類褐変病		ツマグロコバイ	
注意事項	●種子消毒の欄参照		●播種直前に一箱当たり500cc散布し播種		●葉に付着した薬剤は払い落とし、灌水する。		●箱剤は用途に合わせて使用して下さい。		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度	
	●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度		●中干しは必要薬剤が確保できるときがたった1度	

施肥設計 (10a当たり)

(土壌改良剤)

肥料名	散布量	成分(数値は1袋中に含まれる成分(%)です。)							
		アルカリ分	苦土	石灰	ケイ酸	鉄	リン酸	カリ	ホウ素
ケイカル	160kg(8袋)	47	5		32				
とれ太郎	60kg(3袋)	40	12		30		6		
土改王	60kg(4袋)	17	5		20		5	9	
ケイ酸カリプレミアム34	40kg(2袋)		4		34			20	0.1
シリカサポート1号	40kg(2袋)	32	1		20	10.8	3		

注) 上記の数値以外にも成分が含まれる場合があります。
 ※石灰(カルシウム)…根の生育を良くします。 苦土(マグネシウム)…植物の光合成を促進させます。
 ケイ酸…耐病虫性の増加や植物の代謝を良くします。 鉄…根腐れ等の発生を軽減します。
 ★【とれ太郎 2袋】 + 【シリカサポート 1袋】 / 10aで、不足している「苦土」「ケイ酸」「鉄」を補えます。

(元肥+穂肥) (10a当たり)

元肥	散布量	成分(%)1袋あたり			穂肥	散布量	成分		
		チopp	リン酸	カリ			チopp	リン酸	カリ
化成肥料10-16-16	40kg(2袋)	10	16	16	化成肥料16-0-16	20kg(1袋)	16	0	16
エムコート477	40kg(2袋)	14	17	17					
B一発033	30kg(2袋)	20	13	13					
超一発DX(100日)	50~60kg(2~3袋)	12	10	10					
エムコート2000	35~40kg(2袋)	20	10	10					

※超一発DXは、土壌改良(ケイ酸)と堆肥(腐植酸)を1袋に集約した肥料です。施肥作業の省力化が出来ます。

★近年、土壌のバランスが悪くなっています。土壌改良剤を投入し、地力の回復を図りましょう。

ワンポイント!! ※稲ワラは肥料として活用できますが、稲ワラ分解の際に発生するガスの影響で、根が酸欠を起こし、根腐れや生育不良の原因になります。稲ワラを効率よく利用するには、「ワラ分解キング」等の改良剤の投入をお勧めします。

除草体系及び使用方法

注意!! → 除草剤と箱苗施肥を間違えないようにしましょう。

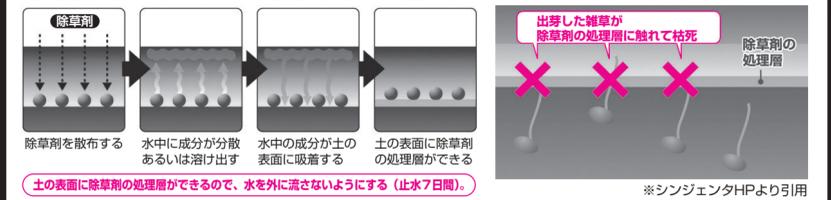
※初期期・一発剤で抑えられず、雑草処理に苦労している圃場が多いようです。圃場に合った薬剤を選び、適期散布を心掛けましょう。
 ノビエやホタルイなど、特に雑草処理に困っている方は、①・②をお勧めします。

	① 代かき～田植まで7日以上空ける方	② 田植え機械同時または、田植え後に散布を行う方 ※一発処理剤	③ 田植え後に散布を行う方 ※撒きやすい3kg粒剤
田植え7日前まで	メテオフロアブル 使用量: 500mL/10a 成分①		
田植え後(当日)		ウニングラン 成分③ 又は エンペラー 成分③ 1kg/10a フロアブル 500mL/10a ジャンボ	クサトッタ3キログラム 使用量: 3kg/10a 成分④
田植え5日			
田植え7日	ノックアウト薬粒 250g/10a 成分④		
田植え30日			
中干し後		バサグラン粒剤・クリンチャーバSME液剤など	

★水田雑草は、田植え30日までの期間でいかに生えさせないかが重要です。中干し後は、雑草が大きくなりすぎて薬剤が効きにくくなります。早めの散布を心掛けましょう。

<注意事項> ※整地・代かきは丁寧に、田面水の流亡がないように畦畔管理を行うこと。

図1 水稲除草剤の効き方 図2 水稲除草剤が雑草を枯らすしくみ



◎上記以外の除草剤や大型規格を取り揃えています。分からない点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

●経済課(購買センター) 0972-63-1146 ●園芸課 0972-63-1147

へり防除を実施する方は、農林振興公社へお問い合わせください。

〒875-0292 臼杵市野津町大字原333 ほんまもの里 農業推進センター内
 ☎0974-32-7988

種子消毒

(1)水の量は浸漬剤の1.5倍以上必要。
 (2)テクリードCフロアブルとスミチオン乳剤を所定量の水に溶かし、消毒液を作る。
 (3)消毒時間は24時間とし必ず時々かくはんする。
 (4)消毒が終わったら一定時間(半日程度)風乾して浸漬すること。

テクリードCフロアブル(50mL) + スミチオン乳剤(10mL) (混合)

水(L)	テクリードC mL	スミチオン乳剤 mL
10	50	10
20	100	20
30	150	30
40	200	40

●希釈早見表

水(L)	食塩(g)	硫酸(g)
5	1	1.45
10	2	2.9
15	3	4.35
20	4	5.8
25	5	7.25
30	6	8.7

※塩水選後は、粉を充分水洗いする。

塩水選

●希釈早見表

水(L)	食塩(g)	硫酸(g)
5	1	1.45
10	2	2.9
15	3	4.35
20	4	5.8
25	5	7.25
30	6	8.7

※塩水選後は、粉を充分水洗いする。

育苗

液剤の使い方

生育の悪いときは本田での活着促進としてタチガレン液剤を使用してください。

ダコニール1000又はタチガレエースMの希釈液を散布する。

1000倍液を箱当たり500cc散布 移植前3日～前日

育苗管理(置床式)

シルバーポリ 0.05×270 #80

理想的な箱苗 播種後23日～25日 葉数2.5葉

発芽(温度28～30℃ 湿度80%) 播種後5～6日

芽が出そろった後 播種後

トンネル内が25℃以上になれば換気する。

シルバーポリ除去 植付10日前(2～3日すそあげを行ってから)

(育苗床面積は10a当り 6.0m(満含む)必要です。 苗箱数20箱/10a)

【育苗のポイント】
 1. 苗箱の向き
 2. 育苗床の温度
 3. 換気
 4. 水管理

肥料・農薬・資材はみんなのJAへ。